

2006年10月3日

## 鉄道博物館シンボルマーク等の決定について

東日本旅客鉄道株式会社  
財団法人東日本鉄道文化財団

鉄道博物館については、2007（平成19）年10月14日（日曜・鉄道の日）の開館を目指して、順調に準備作業を進めております。

建物建設工事では、昨年11月の起工式以降現在までに鉄骨工事をほぼ完了しました。さらに展示車両も、本年6月に津軽鉄道からオハ31形式客車の寄贈を受けるなど、各地からこれまでに4両の輸送を終え、展示に必要な修復工事に着手しております。【別紙1】

加えてこのたび、入館料金等の営業概要およびシンボルマークを決定しましたのでお知らせします。

### 1. シンボルマークについて

鉄道博物館のシンボルマークは次に掲げるものとします。なお、デザインコンセプトは以下の通りです（商標登録済み）。



- ・ 人、物を運び、文化を飛躍的に向上させてきた鉄道。その全ての車両に共通する「車輪」をシンボル化しています。
- ・ 駅と駅とをつなぐ路線を象徴化しています。
- ・ 3つの輪は、鉄道博物館の3つのコンセプトである「鉄道」「歴史」「教育」を表します。
- ・ 鉄道博物館が常に進化し走りつづける運動体であることを表現しています。

## 2. 入館料金について

区分	料金額	区分	料金額	摘要
大人（個人）	1,000 円	大人（団体）	800 円	
こども（個人）	500 円	こども（団体）	400 円	小中高生
幼児（個人）	200 円	幼児（団体）	100 円	3歳以上未就学児

## 3. 開館時間、休館日について

開館時間：10:00～18:00

休館日：毎週火曜日及び年末年始（12月29日から1月2日）

※開館初年や学校の長期休業中などは連続開館を考慮します。

## 4. Suica 入館システムの採用

入館にはお客さまがお持ちの Suica をご使用いただけます。

※具体的な入館方法については、別途お知らせします。

## 5. その他

○展示計画の深度化等にともない 2005 年度以降、展示車両について以下の変更を実施しました。

- ・デ 963 形式電車（甲武鉄道が導入し国電の始祖となった車両）の新規展示（松本電鉄より受贈）

○鉄道博物館のプレ企画展示「夜行列車 ～新橋発 2007 年鉄道博物館ゆき」を開催しております。あわせてご観覧ください。

開催期間 2006 年 8 月 1 日（火）～11 月 19 日（日）

開催場所 旧新橋停車場鉄道歴史展示室

東京都港区東新橋 1-5-3 03-3572-1872

開催時間 11:00～18:00（入館は 17:45 まで）

入館料金 無料

○鉄道博物館メールマガジン会員の募集を開始しました。10月3日に創刊し、開館まで毎月2回配信します。鉄道博物館ホームページよりご入会ください。  
(<http://www.railway-museum.jp>)

### 【参考】

「鉄道博物館」計画の概要 2007（平成19）年10月14日（日曜・鉄道の日）開館予定

- ① 所在地 埼玉県さいたま市大宮区大成町3丁目、北区大成町4丁目
- ② 最寄駅 埼玉新都市交通（ニューシャトル）大成駅（下車徒歩1分）
- ③ 敷地面積 約41,600㎡
- ④ 建物延床面積 約28,200㎡
- ⑤ 展示スペース 約9,600㎡（実物展示車両36両）



東側より



歴史ゾーン(仮称)内部



北側より



9/15時点航空写真

【別紙1-2】 鉄道博物館展示車両輸送・修復写真



ナハネフ22形式輸送(06年3月)鎌倉総合車両センター→大宮総合車両センター



ナハネフ22形式輸送(06年3月)鎌倉総合車両センター→大宮総合車両センター



オハ31形式輸送(06年7月)津軽鉄道芦野公園駅→大宮総合車両センター



キハ41000形式屋根腐食部補修(06年7月)郡山総合車両センター

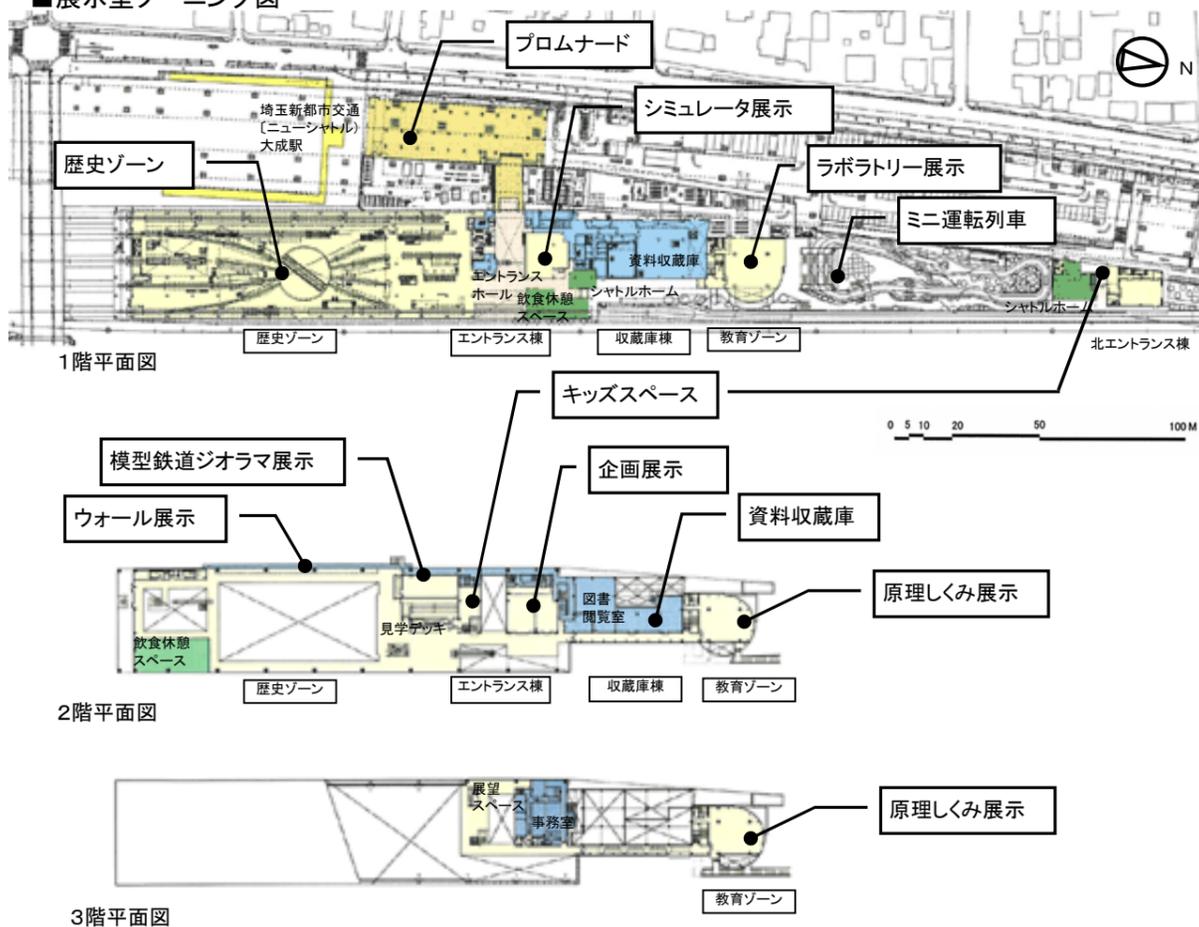
## 【参考】鉄道博物館展示概要

### ■展示室概要

- ・プロムナード : 博物館への期待感を高める演出を行います。鉄道部品や鉄道を題材にしたオブジェを配置します。
- ・シミュレータ展示 : D51蒸気機関車をはじめとして5台のシミュレータで鉄道の運転を体験できます。
- ・歴史ゾーン : 実物車両が並ぶ大空間。展示車両の活躍した時代を駅や工場などの情景を再現して日本の鉄道の技術発達を実感的に学べる展示です。
- ・ウォール展示 : 日本一の長さ、75mの「鉄道歴史年表」を展示します。
- ・収蔵庫展示 : 収蔵庫の一部はお客さまにもご覧いただけるよう配慮しています。
- ・模型鉄道ジオラマ展示 : 面積200㎡、レール総延長1,200mの日本最大の模型鉄道ジオラマを設置します。
- ・ラボラトリー展示 (教育ゾーン1階) : 車両工場、デザイン、駅構内の3つのラボラトリーで鉄道を支える人々の仕事を体験できるワークショップ型の展示です。
- ・原理しくみ展示 (教育ゾーン2、3階) : 鉄道を支える科学原理としくみを楽しみながら学べる参加体験型の展示です。ラボラトリー展示と原理しくみ展示で構成される教育ゾーンは、さいたま市との学校連携を中心とした「教育学習機能」を充実させています。
- ・ミニ運転列車 : 安全運行のしくみを自らミニ列車を運転して学ぶことができます。

※コーナー名称などは全て仮称です。  
※一部内容が変更となる場合があります。

### ■展示室ゾーニング図



### ■展示室イメージ



・プロムナード



・歴史ゾーン



・歴史ゾーン



・歴史ゾーン



・ウォール展示



・模型鉄道ジオラマ展示



・キッズスペース



・ラボラトリー展示(教育ゾーン1階)



・原理しくみ展示(教育ゾーン2、3階)



・ミニ運転列車

【参考】展示車両一覧

※デ963形式は展示内容の深度化から追加した車両です。

	形式	種別	製造初年	文化財指定等	備考
1	150形式	蒸気機関車	1871	鉄道記念物・重要文化財	英国から輸入された日本初の蒸気機関車。
2	1290形式	蒸気機関車	1881	鉄道記念物	日本鉄道で使われた蒸気機関車。善光号と呼ばれる。
3	7100形式	蒸気機関車	1880	鉄道記念物	北海道開拓に活躍した。北海道初の蒸気機関車で弁慶号と呼ばれる。
4	開拓使号	客車	1880	鉄道記念物	北海道開拓に使用した米国様式の特別客車。
5	明治期の客車	(模造)	---		明治期の3等客車を模して作られた実物大展示用車両。
6	デ963形式※	電車	1904		中央線の前身である甲武鉄道が導入した初の国電
7	ナデ6110形式	電車	1914	鉄道記念物	国産最古のボギー台車式大型電車。東京地区で使用された。
8	9850形式	蒸気機関車	1913		現存唯一のマレー式機関車で、東海道本線御殿場越えで使用された。
9	ED40形式	電気機関車	1919	準鉄道記念物	初の国産電気機関車で、信越本線横川～軽井沢間のアプト式区間で使用された。
10	C51形式	蒸気機関車	1920		蒸気機関車の国産技術が確立した大正時代に登場した急行用大型蒸気機関車
11	ED17形式	電気機関車	1923		東海道本線の電化に備え、英国より輸入された電気機関車。
12	オハ31形式	客車	1927		初の鋼製客車として製造された標準的な17m級客車。内装は木造。
13	C57形式	蒸気機関車	1940		特急・急行列車の牽引に活躍した旅客用標準機関車。
14	マイテ39形式	客車	1930		東海道本線の特急用一等展望客車。桃山様式の荘厳な内装を誇る。
15	クモハ40形式	電車	1933		3扉ロングシート車で戦前を代表する通勤車両。
16	キハ41000形式	気動車	1933		初の本格的な大型ガソリンカー。国鉄で廃車後、遠州鉄道、筑波鉄道などで使用。
17	DD13形式	ディーゼル機関車	1958		入換用ディーゼル機関車の標準機。全国の貨物ヤードで活躍した。
18	EF58形式	電気機関車	1946		高い人気を誇った戦後の標準型特急用電気機関車。
19	ナハネフ22形式	客車	1958		国鉄初の固定編成寝台特急用客車。空気バネ台車や防音2重窓を採用。
20	クモハ101形式	電車	1957		国鉄初の高性能通勤電車。首都圏・関西圏の通勤路線で使用。
21	クハ181形式	電車	1958		国鉄初の特急電車151系を基に、勾配線区のために主電動機を強化。上越線で使用。
22	キハ11形式	気動車	1956		国鉄ではじめて導入された液体変速式総括制御気動車。
23	クハ481形式	電車	1964		ほぼ全国の電化区間で使用された全電源対応特急電車の先頭車。
24	モハ484形式	電車	1968	現・モヤ484形式	交流・直流の両電化区間に対応するための整流器とトランスを搭載。
25	クモハ455形式	電車	1965		ほぼ全国で使われた長距離急行用交直両用電車。
26	ED75形式	電気機関車	1963		ほぼ全国の交流電化区間で使用された交流区間用標準電気機関車。
27	222形式	新幹線電車	1980		東北・上越新幹線用に新製された200系の先頭車。
28	EF66形式	電気機関車	1968		国鉄最大の出力を誇った高速貨物列車用電気機関車。
29	レムフ10000形式	貨車	1966		九州～首都圏を結ぶ鮮魚輸送に活躍した、車掌室付きの冷蔵貨車
30	コキ50000形式	貨車	1966		「戸口から戸口へ」のキャッチフレーズで貨物輸送に変革をもたらしたコンテナ貨車。
31	初代1号御料車	御料客車	1876	鉄道記念物・重要文化財	明治天皇専用の日本初の御料車。
32	初代2号御料車	御料客車	1891	鉄道記念物	九州鉄道が製作した明治天皇専用御料車。
33	7号御料車	御料客車	1914	鉄道記念物	大正天皇専用御料車。工芸技術の粋を尽くした内装。
34	9号御料車	御料食堂車	1914	鉄道記念物	大正時代に使用された御召列車専用食堂車。
35	10号御料車	御料展望車	1922	鉄道記念物	大正時代に使用された御召列車専用展望車。
36	12号御料車	御料客車	1924	鉄道記念物	摂政宮(昭和天皇)用御料車。木製としては最後の御料車。
—	国鉄バス第1号車	乗合自動車	1930	鉄道記念物	初の鉄道省営バス路線に使用。本格的な国産の鋼製車両。

※ このほか、オリエンテーションや食事などに使用していただく目的で、2両の車両を敷地内に設置します。